

第3回瑞浪市市民まちづくり会議 会議録

■日時：平成29年3月3日(金) 19:00～21:00

■場所：瑞浪市役所 西分庁舎1階会議室

■出席委員

加藤博之、有賀政光、大野正博、中山征治、大森建生、渡邊勝利、渡邊みゆき
小林哲也、石原健嗣

欠席委員

橋本孝晴、中條貴子

[敬称略]

■事務局

加藤誠二（まちづくり推進部長）

兼松美昭（市民協働課長）

横井宏之（ ” まちづくり支援係長）

隅田一弘（ ” まちづくり支援係総括主査）

（オブザーバー）

土屋泰次郎（土岐地区集落支援員）

鈴木芳子（釜戸町集落支援員）

■日程

1. 会長あいさつ
2. 審議事項
(1) 取組推進方針に基づく取組の個別検証
3. 協議事項
(1) まちづくり全般に関する取組検証提案について
4. その他

■議事

事務局 ただいまより、第3回瑞浪市市民まちづくり会議を開催します。会議の議長は会長が務めることとなっておりますが、会議冒頭部分のみ、事務局において進行をさせていただきます。私は、まちづくり推進部市民協働課長の兼松と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。前回会議で『実際にまちづくり活動を間近で支援している方の生の声を聴きたい』、『一緒に課題解消に向けて考えたい』というご意見、ご提案をいただきました。本日はこの会議に集落支援員2名が参加をさせていただいております。簡単に紹介をさせていただきますが、一人が土岐地区を担当している土屋です。もう一人が釜戸町を担当している鈴木と言いますのでよろしくお願ひします。それでは、加藤会長よりあいさつをお願いします。

【1. 会長あいさつ】

会長 あらためまして委員の皆さま、こんばんは。気候もだいぶ暖かくなりました。本日は

ひな祭りの日ということでございます。ご出席いただきありがとうございます。前回会議冒頭あいさつで、陶町まちづくり推進組織が実施したアンケート調査結果のことを話しましたが、市が実施した市民アンケートの結果をホームページで確認してみたところ、まちづくり関係で、「まちづくり基本条例の内容をよく知っていますか」という設問があり、それに対して20代から50代までで「よく知っている」と回答をした市民は0%でした。広報関係を頑張らせていただいておりますが、市民に、特に若い方に知れ渡っていません。若い方は7割以上が条例のことを聞いたことが無いというのが現状のようです。市民によく知っていただくにはどうすべきか。毎回出るテーマですが、福祉、都市基盤のように身近な分野に比べ、協働の分野は興味のある方が少ない様です。市民の方に理解していただくにはどうしたらよいか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。本日は、集落支援員の方にも出席をいただきました。貴重な意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。本日の会議は、委員11名中9名の出席で、委員の過半数の出席があり、本会議の開催要件を満たしていることを報告させていただきます。この後は、条例の規定に従い、会長に議事を進行していただきます。それでは、加藤会長、お願いいたします。

会長 レジュメに沿って議事を進めます。委員の皆さまにおかれましては、慎重な審議をお願いします。この会議は会議運営規程により、公開の会議となっています。事務局、本日の会議傍聴希望者はありますか。

事務局 ありません。

【2. 審議事項】

会長 それでは、2. 審議事項について、(1) 取組推進方針に基づく取組の個別検証について、事務局より説明をお願いします。

事務局 <配布資料の確認>

前回同様、グループワーク形式で進めて参りたいと思っております。変更点が2点あります。1点目は集落支援員と事務局が各グループに一人付きます。2点目は前回3グループに分かれての意見交換としましたが、人数が少なく意見が出しにくいとのご意見をいただきましたので、本日は2グループとします。前回同様、各グループで発表者を決め、意見交換を進めてください。時間は、目安ですが20時頃までを目途とします。質疑等があればその都度、事務局員にお声かけください。時間になりましたら、各グループで出された意見を発表してください。検証シートは、後日の提出でもかまいません。グループで統一した評価とする必要はありません。個人の意見でご記入ください。

会長 ただいま本日の進め方について、事務局より説明をいただきましたが、ご意見、ご質

問等はありませんか。

<意見なし、質問なし>

会長 それでは、グループに分かれて検証を進めます。各グループで進行役と発表者を決めていただき、進行役の元、意見交換を進めてください。

< 2グループに分かれ、3つの取組みについて意見交換を実施>

【①自治会活動支援について】

【②自治会と行政との連絡調整について】

【③集落支援員制度の導入について】

会長 時間になりましたので、各テーブルで出された意見等の発表をお願いします。

< 1グループ発表>

①について、市の作成している自治会ハンドブックやQ&A集などを拝見したが、内容もわかりやすく、評価できます。世の中の流れとして自治会加入者が減っており、特にアパート世帯で加入する者は少ない。明世地区で言えば、アパート等が多く人口は増えているが、自治会加入率は下がっている。そういう世帯をどう取り込んでいくのか。そのあたりの支援を強化することができればよいと思います。若い人にとって自治会加入はメリットよりデメリットが目立ちます。役職を引き受けたくない、会合に出たくない、会費を払いたくないなど。自治会が防災、防犯やその他のメリットをうまく伝えることが大事だと思います。行政の立場として自治会加入強制はできないが、引き続き支援をしていく必要はあるかと思います。

②について、連合自治会から各地区区長会へ、各地区区長会から班や組へ情報伝達が行われているということでしたが、なかなか情報が行き渡らないことがあると思います。メルマガの活用も良いかと考えましたが、発信をしすぎると本当に重要な情報がボケてしまうので難しいと。何らか良い方法があればと思いましたが特にアイデアは出ませんでした。区長会をもっと小さい規模でやってみるのもよいのではないかと思います。

③について、現在5地区に配置されており、来年度は8地区すべてに配置されるということでした。いつまでも行政の支援に頼って地域を盛り上げるということではなく、地域の組織からつながりを持った人を出すようにしなければいけないと思います。区長会・まちづくり推進組織と行政の連絡調整も図ってもらっていますが、継続的な取組みや行事が多いまちづくり推進組織の業務に当たってもらうことの方が多いと感じています。集落支援員から地域へ、地域から集落支援員へ情報が流れるようになり、評価しています。また、集落支援員がいることで地区のホームページ更新などが頻繁にされ、情報発信がよりされるようになったと感じています。

< 2グループ発表>

③から意見交換を始めました。③について、今まで集落支援員のネーミングと制度導

入の経緯がよくわかりませんでした。一律の業務を行うのではなく、各地区で異なる課題の解消に取り組むため、各地区が相談して業務を決めているということがわかりました。地域の情報発信や行事の運営など業務として幅広く行われ、地域に必要であると感じました。

①について、集落支援員を含めた人的支援が行われるようになったことで、以前より情報の共有化が図られているとのことでしたが、個人的には区長会から各世帯へ、地域からの情報が行政へ吸い上げられていないように感じています。要因については自治会加入率が低下していること、広報やホームページからも情報が得られる等の意見が有り、市民側の取組みも大事だと感じました。情報発信、情報共有の効率化を図るには、行政がフェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど利用してみると良いのではないかと思います。ツールを使いこなせる人材が不足しているのであれば、人材を投入するという必要だと思います。

②について、自治会は定型的な業務で手一杯であり、新しい取組みをすることに対してはマンパワーが不足しています。情報等を得るためには自治会に加入することが最良なのか、他に方法はないのかという意見も出ました。若い世代は仕事があり忙しく、会合でも1時間で終わらせることに終始しており、意見が集約されにくいです。まちづくりについても特に若い人のアイデアが集約されにくいのが現状です。一人ひとりがまちづくりに対してアイデアを出すには主権者教育が大事だと考えました。一人ひとりの参加と業務の分散も必要であると考えました。

会長 ありがとうございます。2グループから発表していただきました。特に感想、質問や意見などがあればお願いします。

＜意見なし、質問なし＞

会長 評価シートへのまとめについては後日提出も可能としていますので、よろしくお願ひします。

【3. 協議事項】

会長 続きまして、3. 協議事項、(1)まちづくり全般に関する取組検証提案について、事務局より説明願ひます。

事務局 <資料に基づき説明>

会長 それでは、引き続きこのままのテーブルで意見交換を始めてください。

＜2グループでまちづくり全般に関する取組検証提案についての意見交換を実施＞

会長 時間となりましたので協議事項については、ここで一旦終了とさせていただきます。

次回は続きを行いたいと思いますので、各自持ち帰っていただき、自分なりの意見や考えを整理していただきますようお願いいたします。本日の会議全体を通して、ご意見はございますか。

委員 集落支援員制度について、大きな一歩が踏み出されていると感じました。これからどういう形で進んでいくか、どの様に活かしていくのか楽しみな部分もあります。まずは一歩が踏み出されたということの評価します。

【4. その他】

会長 続いて、4. その他について、事務局よりお願いします。

事務局 <今後の流れについて事務連絡>
質問があればお伺いいたします。

委員 <質問なし>

会長 皆さん、本日は長時間に亘り慎重審議お疲れさまでした。次回は協議事項の続きを中心に、1年間のまとめを行いたいと思います。それでは、これを持ちまして本日の会議を閉会いたします。

【散会】